

航海概要

1. 航海情報

航海番号:	KY11-E06
船舶名:	R/V かいよう/ROV ハイパードルフィン 4500
航海名:	下北半島沖掘削孔 C9001D ライザーウェルヘッドおよび周辺海底の状況調査
首席研究者:	青池 寛 (CDEX, JAMSTEC)
研究代表者:	モーキョー (CDEX, JAMSTEC)
航海期間:	2011年11月14日～2011年11月22日
出港・帰港地:	横須賀 (JAMSTEC) – 横須賀 (JAMSTEC)
調査海域:	下北半島東方沖

2. 航海概要

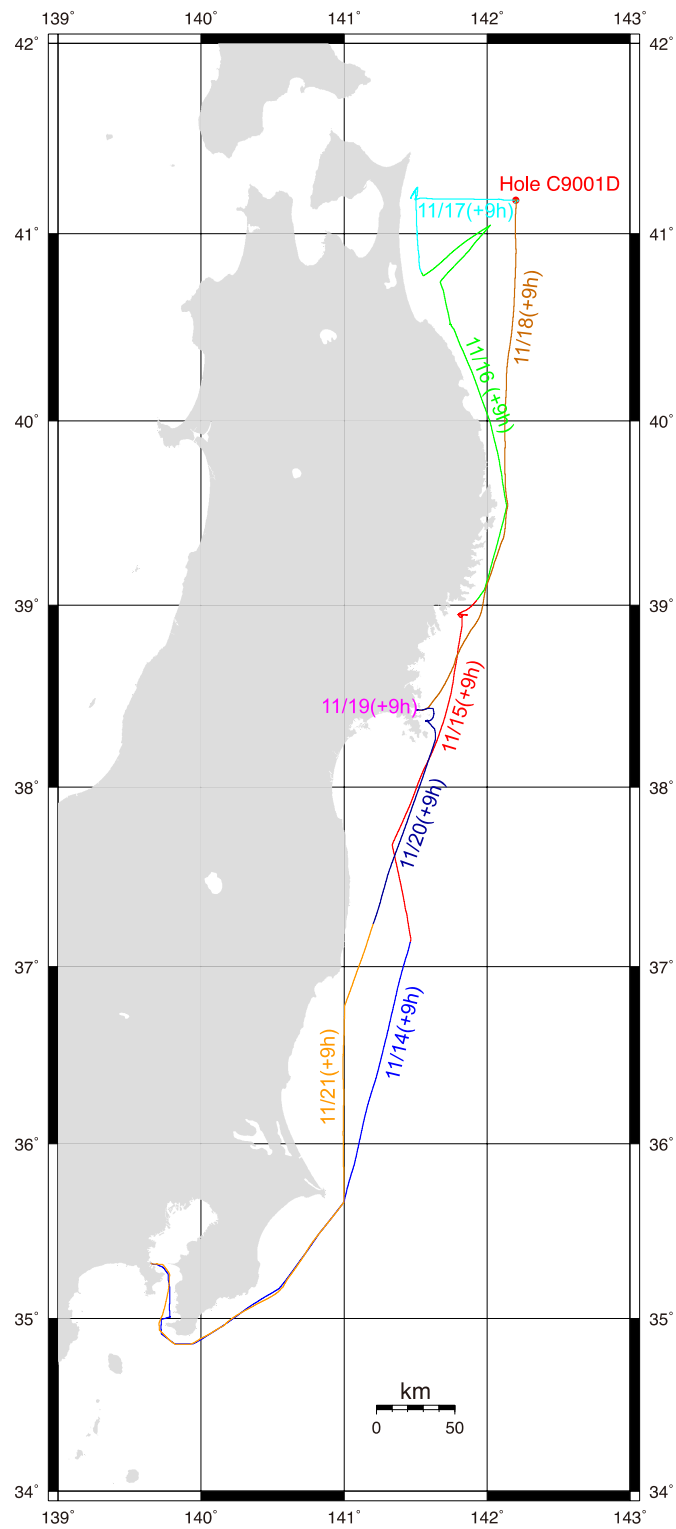
2.1. 航海目的

2011年3月11日の東日本大震災の影響により延期された IODP Expedition 337 の再開に向け、同 Expedition においてリエントリする予定である下北半島東方沖 C9001D 孔のウェルヘッドが震災の影響を受けず健在であるか否かを潜航調査によって確認する。

2.2. 結果

上記目的のため、調査航海 KY11-E06「かいよう」が実施された。調査船「かいよう」は2011年11月14日に JAMSTEC 本部岸壁を出港し、11月18日に当該地点において ROV ハイパードルフィン 4500 による潜航調査を実施、11月22日に JAMSTEC 本部岸壁に帰投した。途中、海況不良の為避泊を余儀なくされ、予定を2日超過した。

ROV による潜航観察の結果、C9001D 孔ウェルヘッドには、掘削作業の支障となるような変化は認められず、周辺海底にも地震に関連するような異常は認められなかった。同ウェルヘッドは健全であり、したがって、平成24年7月から予定されている IODP Expedition 337 実施に問題はないと判断する。



KY12-06 航海の航跡